

デマンド交通に関する 住民説明会

H22年2月27日

一宮町地域公共交通活性化協議会

一宮町

本日の説明内容

1. 一宮町地域公共交通総合連携計画について
2. デマンド交通の試験運行について
3. 今後のスケジュール

1. 一宮町地域公共交通総合連携計画 について

計画策定の背景

◆ 日常生活で利用できる公共交通がない

- JR線と路線バスのみ
- バス利用の減少と路線廃止の危機



計画策定の背景

◆クルマに頼った生活スタイル

- クルマがないと自由に外出できない
- 運転ができないお年寄りや子供は、1人で外出できない

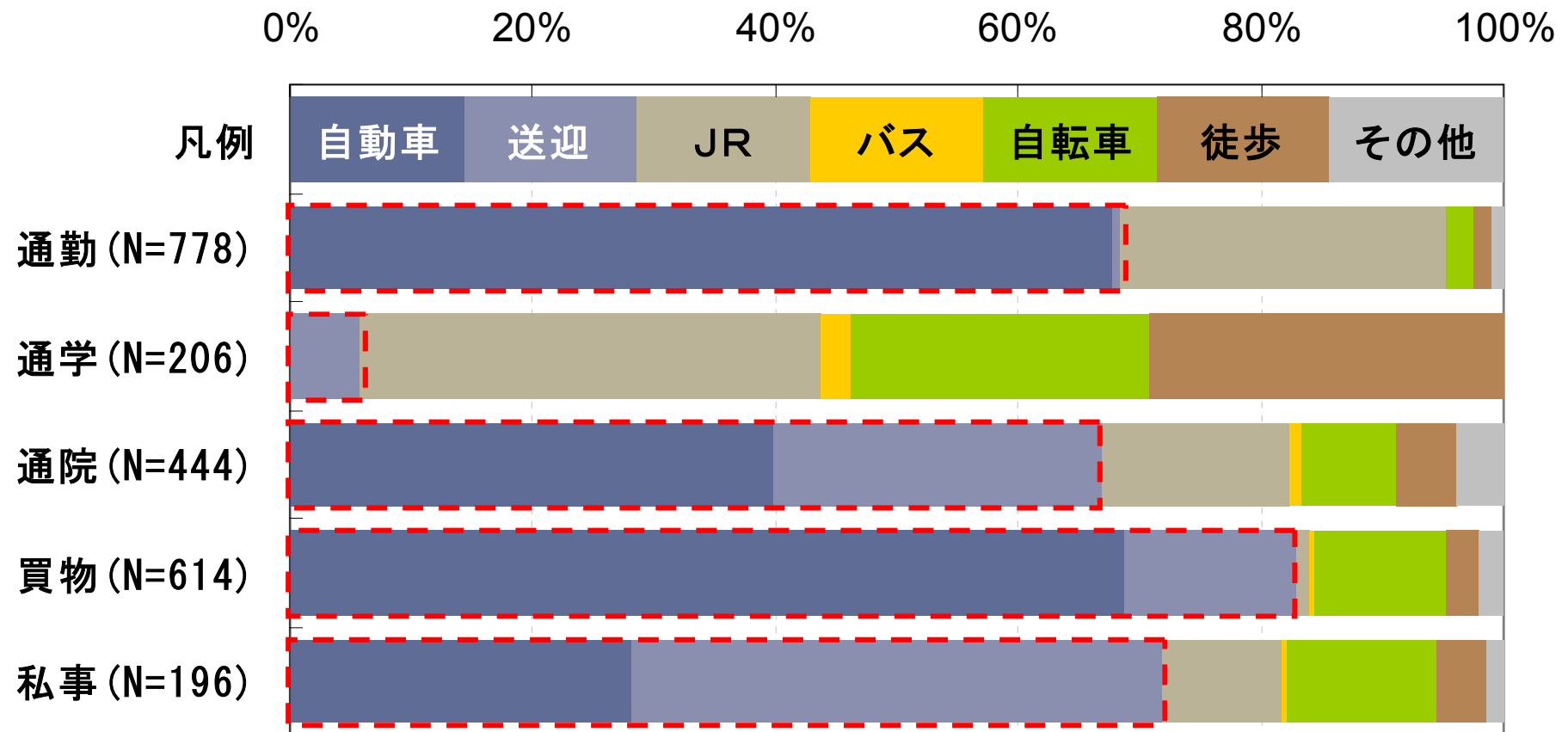
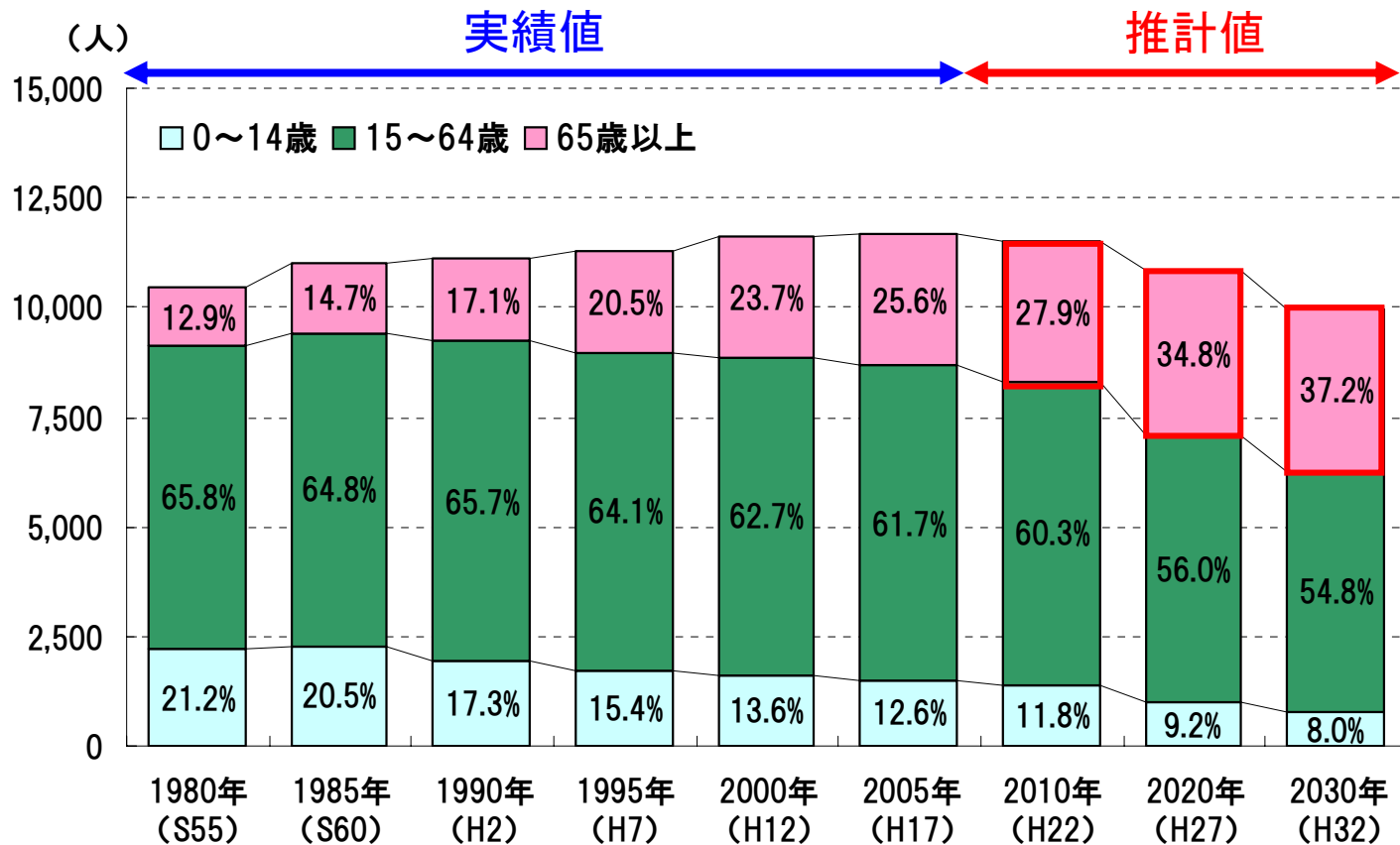


図 移動目的別の主な交通手段の分担率

計画策定の背景

◆進展する少子・高齢化

－ 高齢化率は、26%(H17)から**35%(H27)**に増加する見込み



資料) S55～H17は国勢調査、H22～H32は国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口(H20.12)」により作成

図 人口の推移と将来人口の見通し

本計画における公共交通の将来像

公共交通の課題

- ◆自動車に依存しない高齢者の通院移動手段の確保
- ◆日常の買物交通手段の確保
- ◆安心して通学できる交通手段の充実
- ◆鉄道駅と海岸沿いとの連携強化



公共交通の将来像

持続可能なまちを育み支える公共交通の実現

- 将来像の実現に向けた基本方針と目標を設定
- 目標を達成するための事業を計画

将来像を実現するための基本方針

公共交通の将来像

持続可能なまちを育み支える公共交通の実現



基本方針

1. 高齢者等の通院交通手段の確保

2. 日常の買物交通手段の確保

3. 通学交通手段の確保

4. 観光ネットワークの形成

基本方針に係わる目標

目標1. 高齢者等が安心して外出できる交通手段の提供

- ・高齢者等が安心して利用できる交通手段の提供を目指します。

目標2. 小中学生が安心して通学できる交通手段の確保と拡充

- ・生徒やその家族の負担を軽減する交通手段の確保と拡充を目指します。

目標3. 地域連携による持続可能な交通体系の構築

- ・地域連携により公共交通を支えるスキームの構築を目指します。

目標4. 住民だけでなく観光客のニーズに合わせた交通手段の提供

- ・駅周辺の市街地と観光地を結ぶ交通手段の提供を目指します。9

本町に望ましい交通手段の整理

□ 通勤・通学利用（上総一ノ宮駅利用者）

- JR線との接続が重要となるため、速達性と定時性を確保した交通手段が望ましい。
- 町外からの駅利用者もいることから、隣接する市町村と上総一ノ宮駅を結ぶ交通手段も必要となる。

□ 通学利用

- ある程度下校時間の集約が可能である小学生低学年を対象に、登校に不便な地域において、集約運行する交通手段が望ましい。

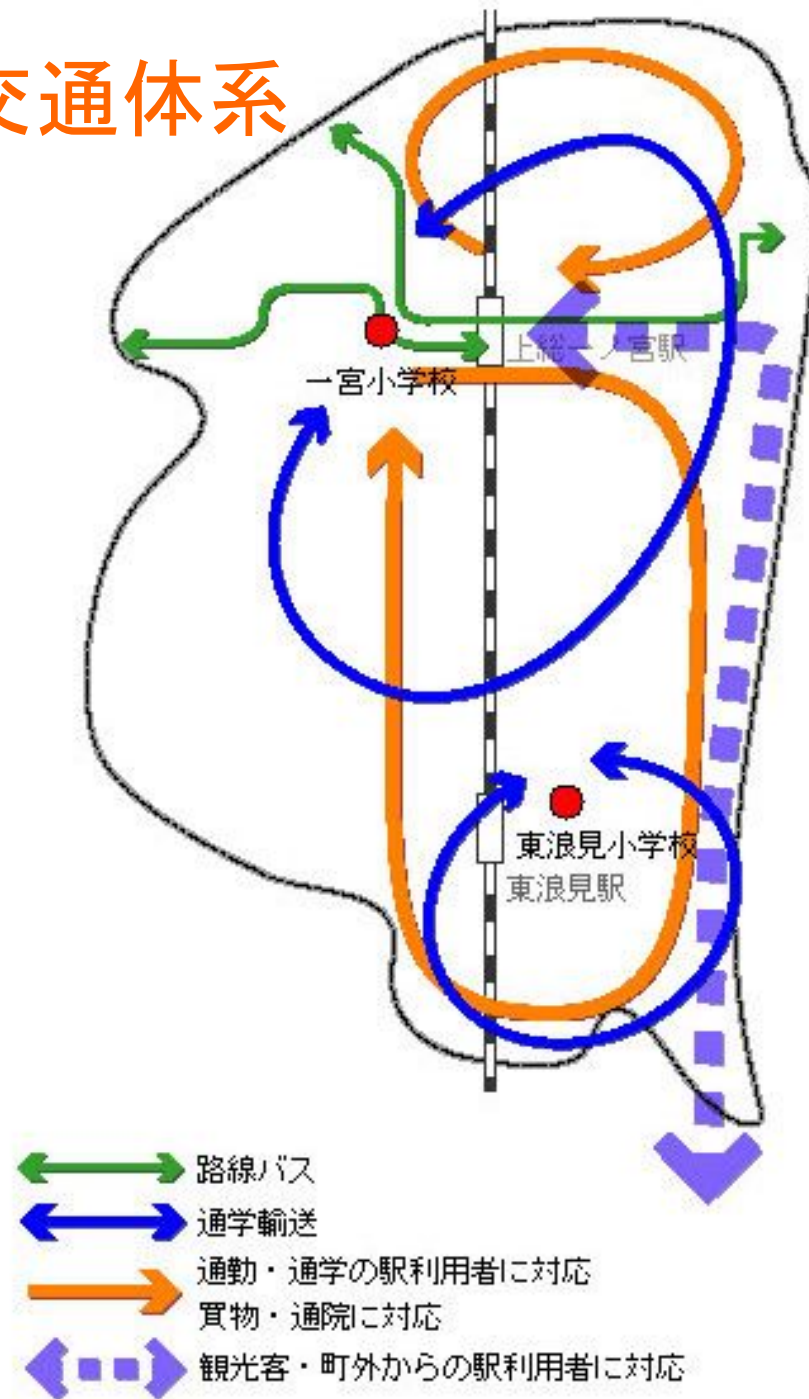
□ 買物・通院利用

- 利用の対象が主に高齢者となることから、町内全域において自宅から目的地、目的地から自宅へ運行する交通手段が望ましい。

□ 観光利用

- 上総一ノ宮駅と、観光施設や宿泊施設が多く集積する海岸沿いを結ぶ交通手段が望ましい。

理想的な公共交通体系



目標を達成するための7つの事業計画

- 事業1. 高齢者を中心とした買物や通院の外出に対応した公共交通の提供
- 事業2. 通学や通勤に、より利用しやすい路線バスへの見直しの検討
- 事業3. 隣接市町村と連携した通勤バス運行の検討
- 事業4. ホテル等の送迎車両を活用した、駅と海岸沿いを結ぶ観光シャトルバス運行の検討
- 事業5. 観光客をターゲットとした自転車の活用可能性の検討
- 事業6. 公共交通を地域全体で支え合い、持続可能なものとしていく仕組みづくりの検討
- 事業7. 公共交通のPR活動の実施

事業計画の概要

事業	事業の概要
事業1	自宅から目的地、目的地から自宅まで利用できる公共交通の運行
事業2	運行経路や時刻の見直し可能性について、交通事業者と調整
事業3	町外の通勤客をターゲットとした通勤バス運行の可能性を検討
事業4	送迎車両を利用し、一般の観光客も利用できるシャトルバスの運行について、地元事業者と検討
事業5	レンタサイクルなどの活用について検討
事業6	地元事業者・行政・町民が協力して公共交通を支え育てる仕組みづくりを、3者が連携して検討
事業7	公共交通についてのパンフレットやMAPの作成、配布

計画期間の平成22～24年度の3カ年で、事業を実施します。

重点的に取り組む事業

- 高齢者対策が緊急の課題
- 外出に最も不便を感じているのが高齢者
- 全ての事業に取り組むのは財政上の負担大



事業1. 高齢者を中心とした買物や通院の外出に対応した公共交通の提供

⇒ 自宅から目的地、目的地から自宅まで利用できる公共交通の運行

デマンド(Demand)交通

⇒ 利用者の要望に応じて運行する公共交通

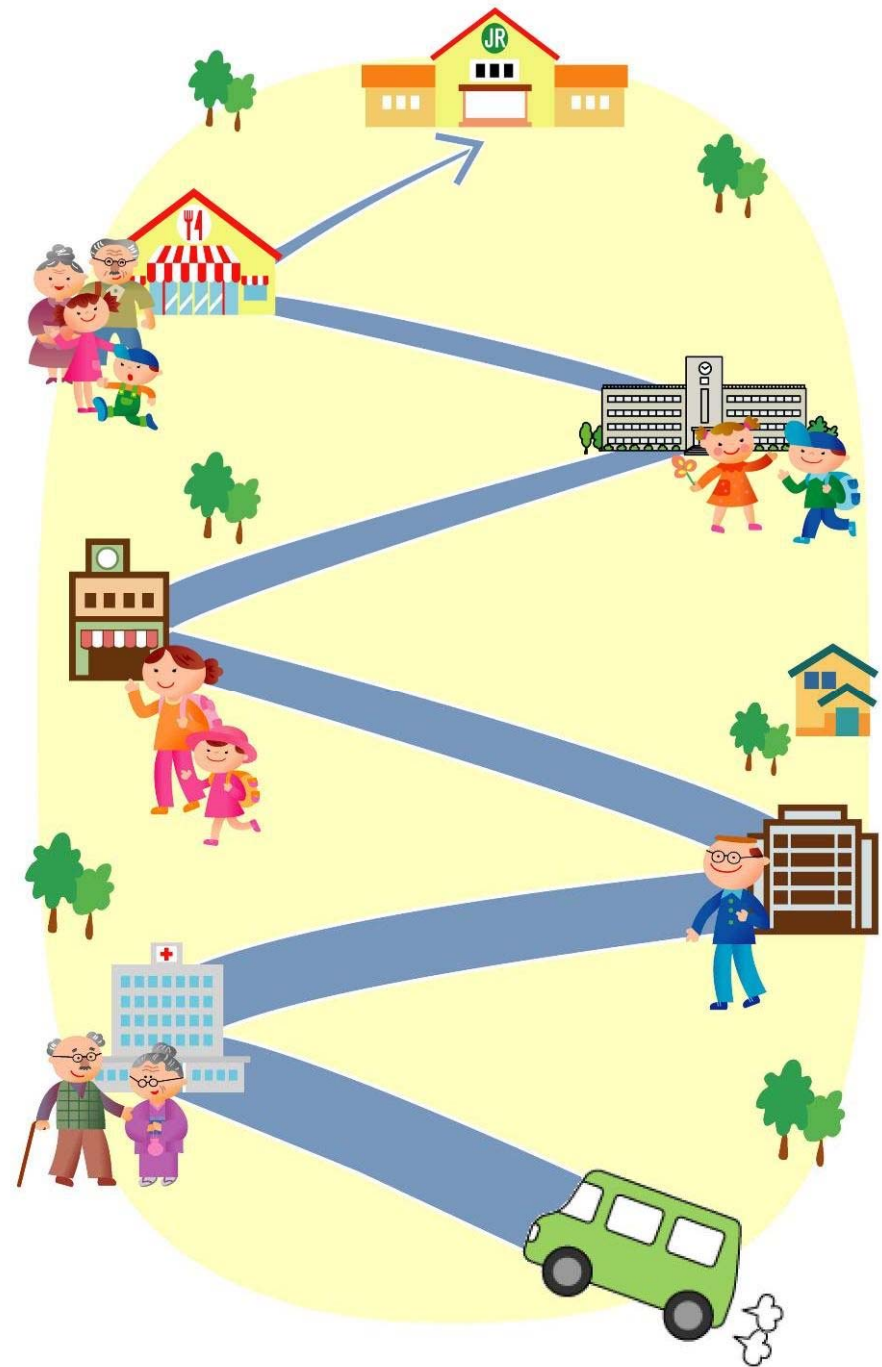


来年度の試験運行を目指していきます。

2. デマンド交通の試験運行について

デマンド交通の特徴

- ◆ 利用者の予約に合わせて、自宅や外出先まで車が迎えに来て、希望する場所まで運行するサービスです。
- ◆ 一般のタクシーとは異なり、他の人も乗り合って目的地に送迎します。
- ◆ 車は乗り合う人の時間に合わせて順に迎えに行き、全ての人をそれぞれの目的地まで送迎します。
- ◆ バスとタクシーのメリットを生かした新しい交通システムです。



デマンド交通の利用方法

出かけるとき

①利用者

〇月〇日の〇時に
自宅～〇〇間で予約
をお願いします。



②受付センター

〇時に、ご自宅まで
お迎えに上がります。



③利用者宅から



④目的地へ



帰るとき

⑧利用者宅へ



⑦目的地から



⑥受付センター

〇時に、〇〇まで
お迎えに上がります。



⑤用事が済んだら

〇月〇日の〇時に
〇〇～自宅間で予約
をお願いします。



※導入するシステムによっては、出発の予約と同時に帰りの予約をしてもらう場合があります。

デマンド交通の導入事例と、その効果

□参考事例

- デマンド交通芝山あいあいタクシー（千葉県芝山町）

運行範囲	芝山町内 (但し町外特定病院までは運行)
運行日	平日、土曜日
運行時間	7時～16時 (土曜は8時～)
利用対象者	芝山町在住者
登録	住所、氏名、電話番号を予め登録
運賃	1回200円
予約受付	利用予定の30分前まで

□導入の効果

- 地域住民
 - － 希望する時間に気軽に外出できる。
 - － 安価な料金で行きたいところへ外出できる。
 - － 自宅や外出先まで迎えに来てくれるため、お年寄りや子供が安全に外出できる。
- 自治体
 - － 住民の生活交通の充実を実現



デマンド交通の試験運行(案)

運行サービス		一宮町での運行上の留意点
運行範囲	一宮町内	上総一ノ宮駅や駅周辺の商業施設や医療機関、町内の知人宅などにアクセスが可能
運行日	平日	買物や通院など、主に日常の外出に対応
運行時間	7時～16時	医院の開業時間に合わせて運行
運行本数	1時間あたり1便	運行時刻は、上総一ノ宮駅の発車を目安
利用対象者	一宮町在住者	町民の生活の足を確保
運賃	1回200～300円	路線バスの運賃並みに設定
車両	車両2台	利用者の希望通りに運行できるように対応

来年度の秋より試験運行を行います。

3. 今後のスケジュール

デマンド交通試験運行までのスケジュール

平成
21
年度

2月 住民説明会

3月

- ・パブリックコメント受付終了
- ・第9回一宮町地域公共交通活性化協議会

住民説明会, パブリックコメントの意見を受けて、素案修正
一宮町地域公共交通総合連携計画承認

平成
22
年度

4月～

- ・デマンド交通運行計画の策定

随時、協議会を開催

秋

- ・デマンド交通試験運行開始

ご静聴ありがとうございました。